

大人への第二歩スタート



つがる市成人式



久々に再会した友人と記念写真

「集えー未来の若者たち 日本の未来をかえるぜ」をテーマに平成22年度つがる市成人式が8月15日、対象者362人のうち283人が出席し、生涯学習交流センター「松の館」で行われました。

新成人らは真新しいスーツ姿、色鮮やかな浴衣やドレスを身にまとい、久々に再会した友人らと会話を弾ませていました。

式典で福島市長は意欲にあふれ、柔軟な思考のできる皆さんの持ちうる力を存分に発揮して頑張ってください」と式辞。新成人を代表して齊藤優樹さんが謝辞を述べ、式典後にはお祝いに駆けつけた恩師の方々が、当時の思い出を振り返りながら、晴れの門出を祝福しました。

20歳の抱負



岡本茉純さん(稲垣)

成人となって、これまでとは違い軽率なことではできません。大人として自分の行動には責任を持たなければならないと感じています。就職難の時代ですが将来は自分にしかできないことを仕事に活かしていきたいと思っています。



工藤凌吾さん(木造)

気がついたら20歳を迎えました。自由と責任の両方を得ることになるので、しっかり自分らしい生き方をしていきたいと思っています。今は学生ですが、卒業後は社会をより良くしていくための仕事に就きたいと考えています。



いよいよ式典の開始です



中学時代の思い出のアルバム



受付や交流イベントなど成人式を陰で支えた実行委員



新成人の皆さんおめでとう！



「誓いの言葉」 齊藤優樹さん

今日晴れて成人の日を迎えることができましたのも、今まで私たちを支えてくださった家族と地域の皆様のお陰と改めて感謝いたします。これからは、成人として、社会人として確固たる自覚を持ち、鋭意努力することを誓います。